

# 林檎

## 岩手Mac友の会

Vol.8, No.1 1996.3.16

Iwate Macintosh Funclub

### 8年目の林檎

桃栗3年柿8年と言いますが、林檎の木は何年で実を結ぶのでしょうか？

そんなことを考えるのは、この会報「林檎」がこの号でめでたく8年目に入るからです。

歴代の編集長や編集委員会、そして執筆した会員の協力に支えられて廃刊に追い込まれずに存続していることを嬉しく思います。会員相互を結ぶ唯一のペーパーメディアとして皆さんのお役に立つて行くことを祈念するとともに、会報への皆様のご協力をお願いいたします。

### 第9回 IMF総会

これまた早いもので、4月20日にはIMFの第9回の総会が開催されます。そう、今年でIMFの活動も9年目に入ります。総会の詳しい案内は同封の案内書をご覧ください。奮ってご参加ください。(忘れないよう今すぐ手帳に記入しましょう。)

近年、この時期になると業績不振や身売り話など陰気な話題が出てくるApple社ですが、日本ではユーザーグループがますます活発になっているように感じます。是非Apple社も全世界のMacintoshユーザーの期待に応じて頑張っていただきたいものだと思います。



### 新テクノロジー

いよいよ OpenDoc が登場してきました。雑誌の付録や Internet の FTP サーバーから簡単に入手できるようになっています。まだ日本語版では正式にリリースされていませんが、この新技術で Apple の巻き返しができるでしょうか？

そういったシェア争いはともかくとして、ユーザである我々にとって快適な操作環境が提供されるということは喜ばしいことです。総会でもデモを予定していますので、乞うご期待！

### MACWORLD Expo

今年も MACWORLD Expo Tokyo '96 が開催されました。私は仕事が多忙を極めたため残念ながら参加できませんでしたが、林檎取材班(?)は、どっこい健在でした。Mac関連雑誌でも

Expo 関連記事は読めるでしょうが、林檎ではまた違った視点で捕らえていますので、楽しめることと思います。

さあ！次頁からの特集をお楽しみください。



### Inside

MACWORLD Expo.(1)	2
MACWORLD Expo.(2)	4
近頃気になる言葉	6
山の花	7
私のMaclife	8
A balanced Mac life	10
西海岸物語	12
林檎ギャラリー	14
編集後記	15
会員名簿	15
掲示板	16



# MACWORLD '96 速報!



入場したら、まず、袋を貰わねばならない。大量のカタログや、試供品を入れるためだ。たいがいは、名刺と交換してくれるので、EXPO用に名刺をたくさん持って行った方がよい。

さて、どこで袋を貰うかだが、大きさや材質、メーカーブランドなどで選ぶのが常道と思われるが、ついかわいいコンパニオンから貰ってしまうことのほうが多い。



EPSONである。  
EPSONはプリンターメーカーである。  
しかし、わたしはプリンターに関心があるわけではない。  
したがって、写真の真ん中に鎮座しているカラープリンターが目当てなのではない。  
型にはまったプレゼンではあるが、カッコ良い。  
プレゼンターのおねえ～さんもカッコ良い。





プレゼンターが良いと、ソフトもいいような気がする。これは、高速、多機能、低価格がウリの、新型ワープロ「I-Write」。他社ワープロとの比較デモで高速性を、さかんとアピールしておりました。HTML文書に変換できるのもウリのひとつ。

会場でみかけた可愛いコンパニええ~ちゃん。  
5連写で、どーだ!





今回、個人的にもっとも期待していたAdobe PhotoDeluxe。  
・・・だったのだが・・・

前評判では、PhotoShopのライト版で超低価格というふれ込みで、大いに期待して行ったのだが、実物はPhotoShopとは似ても似つかぬ、ただのペイントソフトのようなものだった。  
今回、もっともがっかりしたソフト。



去年プロトタイプで発表していたピピンが、「ピピンアットマーク」としてようやく全貌を現した。

姿を見せるのが遅きに失した感もある。  
残念ながら、わたしはゲーム関係には全く興味がないので、ほとんど取材してこない。  
モデム内蔵で、インターネットなどもできると言うが、どうなんでしょ？



Systemsoftが、けっこうリキを入れていた、メモリー"節約"ソフト「ラムチャージャー」。  
RAMDoublerと併用すると、効果倍増！？  
プレゼンテーターもかっこいい。



世界最強のMAC???

これが噂のマルチプロセッサMAC「Genesis」。  
しかし、いまだき、ウッ!びやくまんいえんの、値段では、買う人いるのかしら???  
昔は、fxなんかは100万円以上していたけど・・・  
ロケッツの二の舞かな？





今回の私の一番の収穫は、これ！

### Oracle Media Object (OMO)

よーするにオーサリングソフトなんだけど、Director並？の機能で、簡単操作、低価格。しかも、あのOracle社の製品というところが、なんかすごそうな気がする。

自ら「HyperCardの真似」と言うだけあって、HyperTalkコンパチブルというのも嬉しい。しかも、オーサリングソフトとしてはHyperCardを遥かに凌ぐ、高速動作、多機能、高性能だ。そして、へたに隠し立てせずに「HyperCardの真似」と、言い

切ってしまうところが潔い。ただ、いちいちスクリプトを書かねばならないところが×。

今年は低価格オーサリングソフト花盛りだが、なかでも、これと、ExpandBook、Green、が、WIN互換ファイルを作れるという点で本命筋と思う。オーサリングは、たくさんの人に見てもらうことが目的だから、「特定機種」でしか見れないソフトでは失格だ。文章主体ならExpandBook、スライドショーならGreen、インタラクティブならOMO、という使い分けになりそうだ。



FUJIフィルムは、えらい！



コスチュームがなんだかよくわからないKODAK



最後に、ちょっとみぐるしい写真をあしらってみました。

Write & Edit by Shuich Saitou





# 近頃気になることば

佐藤雅子

近頃耳にはいつてくる言葉の中に耳障りというほどではないが気になって仕方がないものがある。使っている人々は流行と気づかずに使っているのだろうし、自分でもいつのまにか会話の中で使ってしまう、しまった!と思うこともある。余計な御世話と解っているけれど書き記すことにした。

## させていただく

最近、テレビでも結婚式やら何やらの挨拶でも「させていただく」というが大流行。謙譲の言葉「させていただく」というのは本来は、浄土真宗の僧がこの世に生を受け、生かしていただくという事に始まったといつぞや物の本(出典は忘れてしまったが)で読んだように憶えている。

このさせていただくという言葉のさせてというのは下一段活用の使役の助動詞せる、させるである。せるは、五段活用とサ行変格の動詞の未然形に接続する。例えば、読ませる、歌わせる、濾させる(濾す)、させる(する)。一方、させるは、それ以外の動詞とカ行変格動詞の未然形につながる。例えば、調べさせる、食べさせる、来させる(来る)。

ところが、私の方から読まさせていただきます、とか、歌わさせていただきますというの間違い。読ませて頂きます、歌わさせていただきますというのが正しい使い方。今、ワープロでよまさせて、うたわさせて、と打ち、変換させたところ、「世増させて」、「ウタ和させて」と出てきた。読ませて、歌わさせてと打つと素直に出てくる。

## みたいな

ラジオ番組特にトーク番組などで随分と流行の言葉が飛び交っているのに気づく。先日も息子とその話になった。「使うまいと思っても使っちゃうよね、流行りに乗っちゃうみたいな」と。普通、みたいなというのは体言に続き、たぬきみたいな顔とか、りんごみたいなほっぺと使う。又、状態をあらわす動詞、形容詞に続き、寒いみたいだ、疲れているみたいだ、行くみたいだなど不確かな判断、婉曲な言い回しに使う。その使い方からいつてまちがいはないのだろうけれど、どこか変だ。どうしてだろう?きつとみたいだと言い切ったり、みたいな様子なのよねなどと続けて使えばおかしくないのだろうけれど、みたいなという連体形で終わってしまったり、又、普通、ようなというところでもみたいなと言ったり、立て続けに使いすぎるからなのではないだろうか?

## うれしかったです。

子供の頃、作文を書いて、うれしかったです、こわかったです、とは決して書かなかった。うれしいと思いましたが、こわいと感じました、と形容詞を現在の連用形で、それに過去形の動詞をつづけて用いることを小学校の国語の時間にいつとはなしに身につけるように教育されたように思う。子供へのインタビューの答えでうれしかったですという答え方が横行しているうち、つい先日若い女性タレントが人生の大先輩と対談して「先生におめにかかれてうれしかったです。」と書いて、ついに大人の世界にまでそのような言い回しが侵入してきたかと驚い

てしまった。

日常会話の中で、そりゃあ、うれしかったわ、とか、こわかったですよと言うのは別に変ではないから、「うれしかったです。」と止める言い方に違和感があるのかもしれない。ですの使い方はとても難しい。

## 申しおりました。

誰それ先生が申しおりました、或いは、申しおられました、とこの頃よく聞く。申すは謙譲の言葉、自分自身あるいは身内のものが話すことを謙譲の意を表して言う。主人が申しおりました、主人に申し伝えます、という風に使う。相手かたあるいは目上の方が言う事についてはおっしゃる、お話になる、と使うのが筋である。おっしゃっておられました、は二重になるからおられるはつける必要はない。敬語はむずかしい。謙譲語、丁寧語、尊敬語の使い分けができるようでありたいと思っている。

今回は、中学、高校までの国語の知識で勝手に書いて、国語の楽しみを味わってしまった。国語に詳しい方、間違いだらけの勝手な言い分を正して、疑問に教えてくださいませんか?理科のたのしみに続いてこむずかしいことをこねくりまわして、なんて思わないエ。これから可愛くするように努力するからさらわらないでエ!

可愛くないまあ姉ちゃんより





昨年の六月、早朝の早池峰に登り、朝日を浴びているイワウメの群落に出会いました。この花は前にも取り上げていますが、花を図鑑的に撮影しており綺麗なものは解るけれど、心に残る物がありませんでした。この写真は逆光で花びらが光を透過して浮き出て見え、太陽を浴びた花がいきいきとして競うように咲いているのがよくわかります。丸く小さな葉は光を反射してかがやき、背景には朝露に朝日があたりフィルムに水玉を作ってくれました。

# 山の花

佐藤護人



自然のプレゼントです。

創刊以来多くの花を取り上げてきましたが、写真の出来も少しずつ進歩して来ましたが、初期には、花を有るがままに写してその美しさを楽しんでいましたが、人に感動を、見る喜びを与える写真をと考えるようになりました。でもそれにはほど遠く、更なる努力が必要です。後の残りの人生で人の心に残る写真が一体何枚撮れるのだろうか。たった一枚でいいから撮りたいな……。





# 私の



# MacLife

by 藤澤 義栄

## 悪魔のささやきではなかったか

漠然とパソコンがほしいと思っていました。大学の卒論がCAIということもあり、パソコンには、割と抵抗がなく入っていきました。まだ、というか、当時は、ベーシックデビューのころで"10 GO TO"などといったプログラム言語をひたすら覚える人の世界でした。でも、卒論はプログラムをパートナーに任せ、理論追求を自分のパートにしました。だから、何にも分からないコンピュータ野郎がいたのです。(レスト オブ アス な自分でした。)

## マックライフ購読

で、生活も落ちついたし、そろそろ欲しいなあと思っていた矢先、僕の前にプラスのユーザー—というかオーナーが出現しました。彼は、僕より4つ下で、GUI環境を自分の物にしているのです。そこで、何となく、あるいは、B型の血故かMACの世界にはまっていきました。とりあえ

ず、雑誌を購読することにしました。それは、かつてのCQのような広告満載のマックライフ誌でした。

## 漢字トーク7リリース

もうすぐ待ちに待った快適な漢字トーク7がリリースされるということで、焦る気持ちで購入計画を進めました。多少不安はあったものの、背に腹は代えられず通販を利用することにしました。今はあるのか分からないME社でした。

ここの売りはメモリーやハードディスクが、前もって増やされている点でした。IIciを買いました。メモリー20MBハードディスク500MBです。11月初めのことでした。しかし……

購入後 悪夢のVx,Viリリースそして、セントリス

しかし、購入後2週間経つとII Vx Viという新製品が発表になったではありませんか。それまでの、息の長い製品というプロダクト環境から、我が(といっても、2週間目のユーザーですが)APPLE社は、路線を変えたのです。唯一の救いは、

シャッキントッシュではなくゲンキントッシュで手に入れたことです。現在は住宅ローンが重くのしかかっていますので……

さらには、クアドラはまだ許せるにしても、II Vx, Viのすぐ後にセントリスが発表になり、いったい何なの!と憤ったこともあります。しかし、APPLE社は、私のことなど一切無視していきました。

## 周辺機器

### ハンドライター購入

使っている内に、キッドピクスが手に入り、デモのペインターが手に入るとペンで書きたくなって、ハンドライターIIを購入しました。しかし、あまり使ってはいません。時間を作らないからかなあ。

### CDドライブ購入

しかし、今一番使っているのは、CD 300です。ロックが好きで、ピーター・ダブリエルのファンなので、彼のCDロムを是非みたいと思ってました。(武道館では660AVがデモ用に10台ぐらい置いてありました。)



そこで、MG社から、通販で購入しました。

から、何となく内容も分かりつつあるかなあというレベルになったなあと思っています。

す。さらに、つけ加えることは、アプリケーションのインストールは業者がしてくれないで、わたしがしてあげました。賃金払え！



MMMで発表する私

インクで失敗デスクライター死す。

インクがなくなったので、購入しようとしたら高額なのに驚き、そして、注文なのに失望し、インクジェットレフィルを購入しました。しかし、これが代物で注入にテクニクが入ります。そのせいか、失敗し、インクと本体を結ぶ接合部分にインクがかかってしまい黒インクでは印刷できなくなってしまいました。しかたなくカラーで印刷していますが、見にくいので困っています。

### マックをめぐる動き

IMFへ加入

そして、会費を払って4年ですから、1992年の冬IMFへ加入させていただきました。

盛岡市公民館の地下へ入っていくと、リングマークがあり理科の勉強のような雰囲気が漂っていました。和室でやったときは、4時過ぎにマックが初めて登場するなんてこともありました。正直言ってあのころの近況報告なり参加した会員の方々のお話は、理解できませんでした。

やがて、なつかしの岩手大学の教育実践センターに会場が移るあたり

インターネット

そんな中、偶然、インターネット出資者だけのミーティングを例会だと思い、間違えて参加し、ついでに、たまたま空きのあった会員枠にいられて、ネットサーフィンを楽しめるようになりました。

しかし、課題の解決は今一歩というところで、もう少し時間がかかりそうです。(ごめんなさい。藪先生)

パソコン教育担当者として  
(MMMのその後)

95年のMMMに初めて参加してから、ついに我が職場(某H市S小学校)に、パソコンが入りました。ラインナップは、タウンズ(FM34台、FMV1台、ノート1台)PC1台、そして、PMAC7500が1台です。

委員会からクレームが私のところに届いたものの、無視した結果、ディーラーには届かなかったようで当初の計画の通りになりました。(笑)32Mのメモリーで、フォトショップページメーカー、クラリスワークス、オーガナイザー、インパクト、ビデオショップにリコーのカメラとエプソンのスキャナーというラインナップです。職員室にあるので、みんなに広めようとがんばっていま

### 夢

アットマーク

3人の子どもたちは、いつのまにかこの超高級ゲーム機の操作をマスターしてしまったようです。次は彼らはニンテンドーを要求してきましたが、回答としてビピンを挙げました。3月末を楽しみにしています。

### 最後に

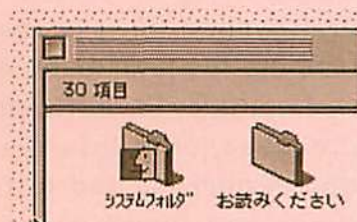
わたしの知っている中で2人のマックユーザーが誕生しました。新製品だから、PMACです。わたしのIIciとは、雲泥の差です。

でも、手放す気にはなりません。わたしのファーストMACだからです。次は、決めています。やはり、シャッキントッシュになりそうなので、慎重に購入したいものだ、と思っています。

今のMACは、パソコン界のロールスロイスにはもうなれないけど、ローバーぐらいのグレード(価格だけ)はあるかなあ。コストパフォーマンス低いなあ。でも、でも、シトロエン2CVではないけれど、はまるマシーンですね。みなさん！！

文・藤澤 義栄

(ふじさわ よしえと読みます。)



Edited by M.Satoh





---

---

# A Balanced Mac Life

Mike Unher

Dear Friends,

I am very pleased to be able to take part in this newsletter. When I first arrived in Japan, back in 1981, I didn't see a single Macintosh computer, and there were only a few people I knew who were using DOS-type machines, mostly for simple word processing, database work, and of course, games. But those early days were what may be called the stone-age of personal computing. Since that time, I have seen a rapid increase in the use of computers, so that nearly everyone has at least a Famicom, if not a "real" computer to use at home or in the workplace. And now, with the advent of the Internet and so many web sites springing up here and there like tulips in spring (there are also some weeds, though), interpersonal connectivity is fast becoming the way many of us communicate, with our colleagues, with information resources, and with friends and family across the seas. We are very for-

tunate at Gandai, for instance, in now having the capability to access, via the Internet, vast and numerous libraries of information throughout the world for our research, and of course for our curiosity. With the availability of the Internet, many of us can browse the world, finding real pleasure in the incredible mass of information available to us at the simple click of a mouse. I look forward to when other schools in Iwate, such as Moridai and Idai, can hook up to this wealth of human knowledge and ingenuity, and when each and every citizen can, if they want, connect to anyone else on this small planet Earth. I have heard some critics of the Internet refer to it as a mere library, but I, for one, love libraries, and to be able to browse through the stacks of information which are housed in the vast library of the Internet is, for me at least, absolute pleasure.

I have been a proud Mac owner for the past 10

years, and am even more proud to say that I still have the Mac I bought at that time. And what is more, I use it at home all the time. It is an "old" SE model, and although it doesn't like System 7, I can get by with 6.0.7. I am not connected to the Internet at home, which of course means that I get to have time for doing other things. (It's amazing how little else I can get done if I have the Internet nearby—it calls to me, and I cannot refuse it's Sweet Siren Song.) But my Mac SE has been very good to me over the past decade (I have to write that, because I am using it right now), and my children use it nearly every day. I want to say, too, that the design of the Mac—the interface, to be exact—makes it so natural for children to use, that my two daughters (and soon, my two-year-old son, too) can just sit down at the Mac and write a letter to Grandma in the U.S., or draw pictures using KidPix, or play some games with it (they love Shanghai), as



---

naturally as when I would have picked up a pencil and paper when I was their age. And in those days of my youth, computers were as big as a room and couldn't do half the things an SE can today! Actually, I am glad in a way that I don't have an Internet connection at home, because my kids would lock themselves in the room with the Mac—they would be out surfing the world and I would never see them! Or else, I would lock myself in, and they wouldn't see me. I know of many husbands who have an Internet connection at home, and their wives never see them—the wives call themselves MacWidows.

But as I mentioned, I am Internet-free at home, and so I have more time to enjoy myself in less electronic ways. For instance, in the summer I like to go canoeing. It's a fairly large canoe—about six meters long. It can hold three adults or four children, plus obentos, of course. I only got my canoe last spring, and so I haven't really explored very many places around here. I usually go up to Lake Gando, or else I spend a few hours paddling on the Kitakami River north of Shijushida

Dam. It gives me some exercise, and although I can now canoe at a pretty good rate, I still cannot take anyone water-skiing, yet.

I really miss my canoe in the winter, but I try to make up for the loss by going cross-country skiing. I usually go skiing in the woods near my home in Takizawa, and once or twice I've made the trip up to the top of Hachimantai. But when my hands get too cold from being out in the frozen air, I come back home, turn on my Mac, and warm up my fingers next to the fan. Or else I brew a cup of coffee. Or sometimes both.

Speaking of coffee, my wife and I have "discovered" a wonderful shop in Matsuzono that sells great coffee, called simply "Mame-ya", and a truly marvelous gentleman, named Mr. Noda, who runs the shop. He speaks some English, so I feel confident in communicating with him, and he is also very friendly. And he has a great collection of jazz CDs that he will let you listen to while you taste some of his various kinds of coffee and gets your order ready. But of course, the best part is his

coffee itself. He has coffee beans from every country, it seems, and I feel like I am surfing the world just by entering his little shop, trying to decide what kind of beans to bring home. Even my youngest daughter likes his shop, and with his kind help, she did her "jyukenyu" school project on how he roasts and grinds his coffee. And what makes his place even more interesting is an old Mac Plus that sits quietly in the corner of the shop. I think it might be a customer that never leaves!

I suppose that I lead a very balanced type of life, sometimes working (or playing) with my Mac, sometimes going canoeing or cross-country skiing, sometimes brewing espresso coffee at home. I think it's the perfect life for a Mac owner—just enough of everything!

Thank you for giving me this space to write in, and I hope some of you (but not too many!) will come canoeing with me next summer!

(edited by yabu toshihiro)



# 西海岸物語

文と編集と注釈 工藤 聡

## 西海岸の生活

ここは「西海岸」ではあるが、「盛岡から見た場合」という条件付きの「西海岸」である。つまり日本海側。早い話が私は今秋田にいる。秋田での生活が始まって早七ヶ月。結構こちらの生活に慣れてしまった<sup>1)</sup>。生粋の岩手人から見た秋田の様子をレポートしてみたいと思う。

天気はとにかく荒々しい。夏場なら1日に1回は雨が降る。冬場は1日に1回は雪が降るが、正確には雪ではなく氷の粒が降る<sup>2)</sup>。そして、冬場の太陽は貴重品<sup>3)</sup>である。滅多に見られない。

もっとも、能代出身の人に言わせれば秋田市周辺の天気は「かわいいもの」らしい。能代支店でなくて良かったと思う。

## 酒

さすがは酒どころである。おいしい酒がある。酒好きの私としては嬉しいところである。高清水、飛良泉、刈穂などが有名どころか。刈穂の純米大吟醸はうまいだけあって五千元もするため、滅多にお目にかかることはない<sup>4)</sup>。

しかし、いくら酒が好きだからといって、あまり調子に乗って飲むものではない。先日、小料理屋で酒ばかりを注文していたら七千円の勘定を請求されて、一気に酔いがさめてしまった。

## 竿灯祭り

東北三大祭りといわれる竿灯であるが、間近で見るとやはり迫力が違う。いつこちらに倒れてくるかわからない<sup>5)</sup>、スリル満点の祭りである。

竿灯を見る場合、最初から見てはいけない。最初の一時間くらいはおばちゃん達による盆踊りである。次の30分は竿灯の移動と準備である。そのあいだは沿道の屋台で生ビールと焼き鳥を楽しんでいた方がよい。

竿灯の影響なのであろうか、通称「竿灯通り」と呼ばれる大きな通りには、電柱はいっさいない。動機は不純(?)であれ、立派なものである。

## 大曲の花火

秋田で行なわれる祭りの中でも、大曲の花火大会が一番有名<sup>6)</sup>だと思われる。昨年の花火は大雨で雄物川の増水により打ち上げ場所が水に浸かったため、延期となってしまった。来年は是非とも見てみたいものだ<sup>7)</sup>。

\*1)岩手弁なら「ずっぱり」と表現するところであるが、それに該当する秋田弁はまだ覚えていない。

\*2)自転車に乗っていてこれにあたると、前が見られないほど顔が痛くなる。

\*3)「秋田美人」の色が白いのは太陽光をあまり受けないからと言う噂もある。

\*4)いや、酒屋にはあるのだが財布の中身がないのである(;;)

\*5)提灯の明かりが多い方がうまい担ぎ手らしい。下手な人はしょっちゅう竿を落とすために蠟燭が消えるから、ということだ。

\*6)独断である。しかし、その日の国道46号の混み具合といたら……。

\*7)前回の花火の記憶は、「いかぼっぼがおいしかった」ことしか覚えていない。



## 仕事もしないとね

別に物見遊山で秋田にいるわけではない。何故に秋田で生活をしているかといえば、会社の秋田支店ができ、そこに転勤となったためである。秋田市から盛岡まで通勤しているわけではないので、念のため。

\*8)会社(盛岡、一関、秋田)の中では一番いい環境である。その分仕事はきついが。

\*9)ほとんどはNECのPC-98である。残りはGateWay社の通称「うし」と呼ばれるDOS/V機である。

\*10)YooEdit、Edit7、Jeditといった、洗練されたテキストエディタをWindows環境では見たことがない。エディタはあるが、どれも「なんだかなあ」である。

\*11)もちろん、セクシーな画像もちらほらと...

\*12)考えたただけだが...。どうなんでしょうね、編集長。

\*13)実はアパートには有線放送を引いている。各種の音楽からお経までを網羅した「USEN440」である。有線放送は電話回線を通じて室内に配線されるため、その影響でFirstClassがちゃんと動作しないようである。つながるときもあるんだけどね。

\*14)IMF古参会員の一人である。職場では私の向かいに座っている。よろしくね。

少しだけ職場の環境<sup>9)</sup>を紹介します。まずはMacであるが、PowerMac 8100/100AV + 17インチモニタ。機種を選定したのは私であるが、いまだに「AV」の部分は使っていない。

そして、忌まわしいことに一人一台のWindows95マシン<sup>9)</sup>がある。もちろん私も、である(;)。システム開発のターゲットマシンなので仕方がない。が、私はこのマシンはプログラミング以外には使っていない。

しかし、MacとWindowsの両方で動くソフトでは、Windows用のソフトの方が圧倒的に早い。ExcelもWordもNetscapeも。ちょっと悲しい。もともと、私が愛用しているのはYooEdit<sup>10)</sup>であるから、関係ないと言えば関係ない。

## WWWの利用

社内でWWWサーバーを運用している。ここには様々な情報やシステムが乗っている。なかでも一番便利なのは「弁当発注システム」であろう。画面上でその日の昼食をオーダーできる。一部の弁当は実物の写真をデジタルビデオから取り込んで、より食欲を誘う内容となっている。

もちろん、実務での利用も盛んである<sup>11)</sup>。各種の設計書はHTMLで記述してあり、誰でもがブラウザによって閲覧できる。こういった環境は非常に便利で、「林檎」のバックナンバーのWebページ化や、紙とWebの同時発行なんてことを考えてみたりもする<sup>12)</sup>。

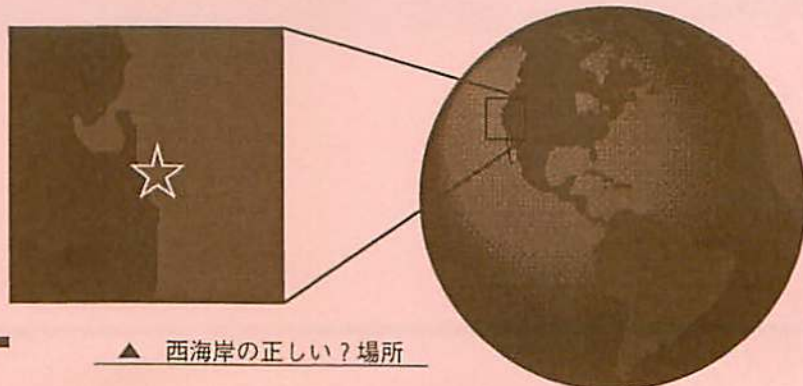
## Mac life

実は、わが家のMac環境は職場ほどは充実していない。盛岡にいたときよりも悲惨である。悲しいことに私のアパートからはMEGUMIにアクセスできない(どこからMEGUMIにアクセスしているかは神の味噌汁、もとい、神のみぞ知る)。おそらく電話回線の問題であるが、どうしようもない<sup>13)</sup>。

さらに悲しいことに、愛機Duo230のキーボードが逝ってしまい、Dockなしでは使いものにならない。

キーボードはなかなか手に入らないし、Duo230へのアップグレードもいつ始まるかわからないし、いっそのことPowerMac 9500でも買ってしまおうかと考えてはみたものの、せっかくだからモニタも17インチに変えようか、でも先立つものもないし、設置場所もないし、やっぱりDuoをなおして使おうか、でも...(以下最初から繰り返す)

何やら取り留めのない話になってしまったが、今回はここまで。次の「西海岸物語」は熊谷朋也氏<sup>14)</sup>が担当する(のかな)。

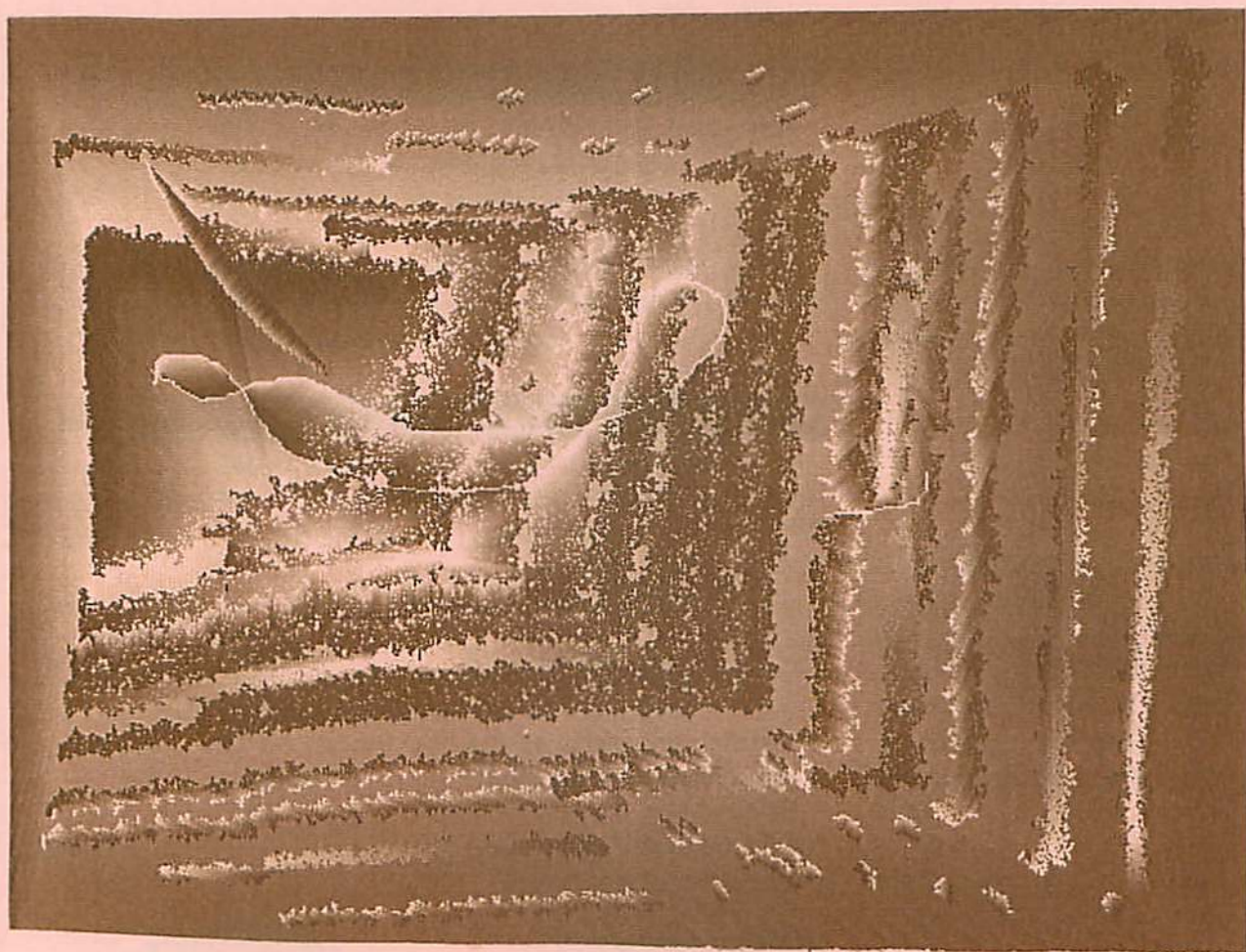


▲ 西海岸の正しい?場所



---

# 林檎ギャラリー





## 編集後記



37号の林檎が完成しました。  
これで私の期間限定の編集長を終えます。  
徳富前編集長の後任が無く、林檎を廃刊に追いやるのに忍びず、己を顧みず編集長を引き受けました。Macの事だけにこだわらず、色々な人の専門的知識を出してもらい、みんなで勉強してはと思っていました。

皆さんのご協力に心から感謝します。  
次号からは葦新編集長に更なる飛躍を期待しております。「みんなで応援しましょう!」

佐藤



今年もSoftwareのVersion Upの季節(別名貧乏神の季節)がやってきました。

FAXstf 3.1.4J, MacWORD 4.0 大して違わんと思いつつ、申し込んでしまう...

更に追い打ちをかけるように Zip Drive を使い始めましたメディアが安くなることを祈りつつ..  
(こんなことをしているから会報の締め切り間に合わなくて徹夜のハメに...)

野村



今年度は転勤の影響でIMFの行事に全然参加できませんでした。  
来年度はさらに暇がなくなりそう...

工藤



今回は原稿の催促という業務?も行ってました。(ごめんね善栄さん)編集は工の時間と放課後に行いました。(ちゃんと工の指導はしっかり行っていますのでご安心を)間にあってよかったよかった.....

鱒沢佐藤でした。



今回は、この会報と一緒に、何と、もう、総会の案内が入る時期になりました。皆さん総会には是非、参加なされて、いろいろな、ご意見をお聞かせください。

では、総会でお会いしましょう。

土村

## 会員名簿

浅田 昌珍	IMF035	北上市	白石 茂	IMF201	盛岡市
浅沼 清智		花巻市	白石 隆	IMF039	盛岡市
浅利 尚志		盛岡市	白沢 道生	IMF207	盛岡市
我妻 則明	IMF241	盛岡市	菅原 忠雄	IMF124	花巻市
安倍 富士男	IMF230	盛岡市	杉村 栄一	IMF036	盛岡市
阿部 好晴	IMF203	盛岡市	杉村 峰秀	IMF113	花巻市
池内 達	IMF210	盛岡市	鈴木 裕之		盛岡市
池田 学	IMF114	浦安市	外川 正	IMF214	盛岡市
石田 宏		盛岡市	高島 浩一郎	IMF012	盛岡市
一井 誠	IMF122	盛岡市	高橋 晃	IMF031	盛岡市
伊藤 光司	IMF077	花巻市	高橋 浩幸	IMF091	盛岡市
井上 博幸	IMF239	盛岡市	谷口 和美	IMF221	盛岡市
祝田 明子	IMF227	盛岡市	田村 修	IMF242	盛岡市
宇佐美 公生	IMF228	盛岡市	千葉 浩保	IMF126	盛岡市
内澤 稲子	IMF217	盛岡市	塚野 弘明	IMF204	盛岡市
大木 哲	IMF206	盛岡市	土村 中	admin	盛岡市
小川 隆男	IMF253	盛岡市	寺田 明功	IMF068	弘前市
沖野 覚	IMF044	二戸市	照井 芳夫	IMF026	花巻市
小野寺 一郎	IMF248	紫波町	遠山 明人	IMF200	盛岡市
神 達宏	IMF229	盛岡市	徳富 亘	IMF015	花巻市
菅野 研一	IMF211	宮古市	戸田 文彦	IMF234	盛岡市
菅野 卓矢	IMF006	盛岡市	永澤 幸雄	IMF118	盛岡市
工藤 聡	IMF094	盛岡市	中島 恵助	IMF236	盛岡市
國光 勝美	IMF243	盛岡市	中野 岳史	IMF254	盛岡市
久保 久	IMF235	山形村	長土居 正弘	IMF087	盛岡市
熊谷 朋也	IMF008	盛岡市	西島 光茂	IMF017	盛岡市
熊谷 雅也	IMF249	大船渡市	根本 聰彦	IMF042	札幌市
小松 寿夫	IMF102	仙台市	野村 行憲	IMF000	盛岡市
今田 莞爾	IMF256	盛岡市	長谷川 晃	IMF240	花巻市
近藤 英一	IMF226	紫波町	花立 純	IMF246	矢巾町
斎藤 秀一	IMF109	盛岡市	福井 和彦	IMF218	盛岡市
斎藤 博之	IMF251	盛岡市	藤澤 義榮	IMF209	花巻市
笹川 順子	IMF220	盛岡市	藤村 漢	IMF028	盛岡市
佐々木 明宏	IMF088	盛岡市	古川 裕一	IMF225	盛岡市
佐々木 幸司	IMF033	盛岡市	本多 健一郎	IMF025	盛岡市
佐々木 雄久	IMF202	岩手町	三浦 吉範		盛岡市
佐々木 治男	IMF237	矢巾町	村上 厚子	IMF257	盛岡市
佐々木 文雄		紫波町	村上 誠一	IMF250	盛岡市
佐々木 眞嗣	IMF247	盛岡市	村上 宏文	IMF099	盛岡市
佐々木 吉信	IMF215	盛岡市	村上 弘行	IMF049	盛岡市
佐藤 顕	IMF093	仙台市	本館 康司	IMF013	花巻市
佐藤 雅子		盛岡市	柳田 久弥	IMF231	石鳥谷町
佐藤 学	IMF119	宮守村	藪 敏裕	IMF214	盛岡市
佐藤 護人	IMF010	盛岡市	山本 淳	IMF034	盛岡市
佐藤 安男	IMF232	盛岡市	吉田 勇一	IMF255	盛岡市
渋谷 昌二郎	IMF238	二戸市	渡辺 浩志	IMF069	能代市
渋谷 芳三		盛岡市			(1996.1.28 現在)

## 95年度の会費納入は

お済みですか?

会費の振込先が変更になっています。

振込先(郵便貯金総合口座)

記号:18370 番号:11993671

名義:岩手Mac友の会 笹川順子

なお、振り込まれた場合は、住所・氏名・連絡先などを別途ご連絡ください。  
振り込み通知書だけでは情報が不足し、どなたの振り込みか確認できない場合がありますので、よろしくお願いたします。



## 例会案内

(4月 20日(土)総会)

5月 18日(土)

6月 15日(土)

14:00 開場

15:00 例会

17:30 解散

場所:

岩手大学

教育工学センター

## 総会案内

4月20日(土)

14:00~17:30

場所: 岩手県自治会館、  
第一会議室

(昨年総会を開催した場  
所)

広い会場で楽しい総会が出  
来そうです。多数お集まり  
下さい。

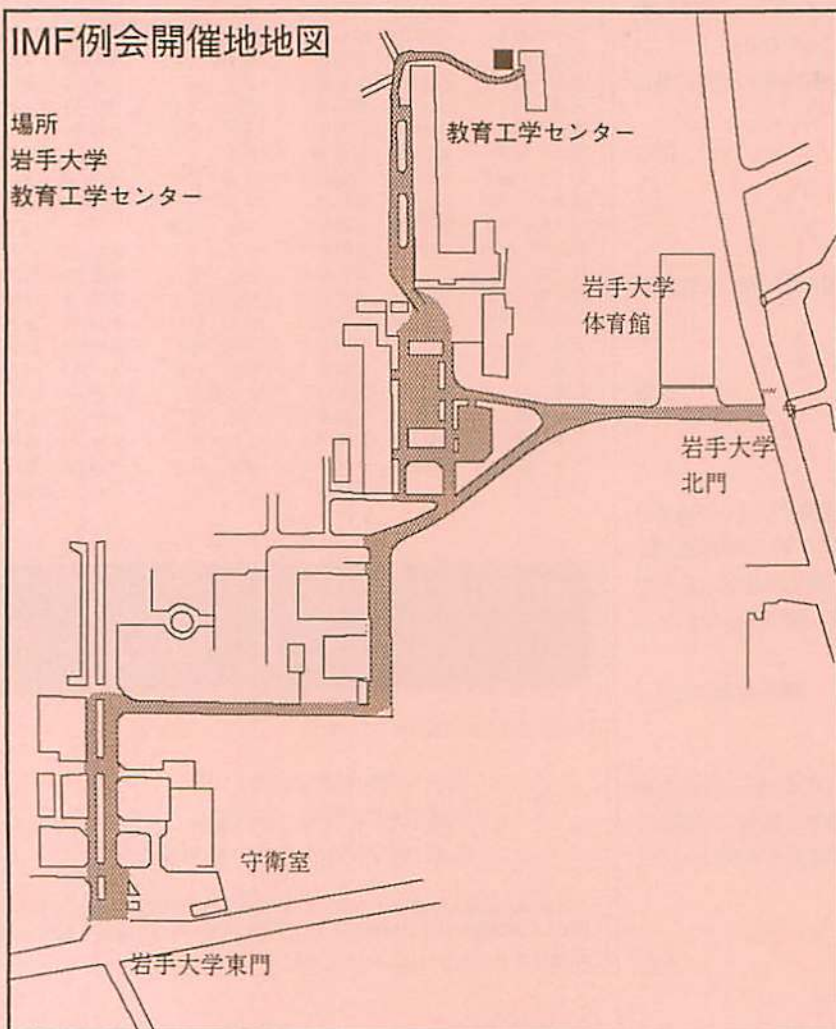


例会の後で、場  
所を変えて編集会  
議を行います。

お時間のある方  
ご一緒しません  
か?とっても楽し  
いですよ!

### IMF例会開催地地図

場所  
岩手大学  
教育工学センター



「林檎」37号は...

First Class	ATOK8
Color Magician	EG-Bridge
EG-Word	Freehand
HyperTerm	Illustrator
MacPaint	MacVJE
MacWrite	NinjaTerm
NISUS	PageMaker
PhotoShop	SoloWiter
StreamLine	SuperPaint

等で作ったものをPageMakerでま  
とめLaserWriter, Microlineでプリ  
ントしました。

「林檎」第37号 1996/3/16

編集長 佐藤 護人

発行 岩手Mac友の会

代表者 野村行憲

〒020-01盛岡市北松園 3-34-2

非売品